

「株式会社 よんでんメディアワークス(四国電力総合研修所)」を訪問して IT時代の人材育成 (e-Learning) について

ポリテクセンター関西
(関西職業能力開発促進センター)

藤原 力

ポリテクセンター中部
(中部職業能力開発促進センター)

丸山 正実

1. はじめに

今回訪問する企業は、こんぴらさんや讃岐うどん
で有名な、四国は香川県高松市にあるよんでんメ
ディアワークスと四国電力総合研修所です。香川県は、
瀬戸大橋を渡ると四国の玄関口に位置し、その香川
県のほぼ中央部に位置するのが県庁所在都市で人口
33万人を有する高松市です。四国の歴史は古く、弘
法大師により開かれた四国八十八ヶ所札所を巡る巡
礼の旅は現在も弘法大師の功德をしのび行われてい
ます。また、今回訪問する四国電力総合研修所のある
場所は、源平合戦の舞台として知られ、「那須与一
の扇的」や「船隠し」など平家物語に登場する屋
島の近くに位置し、閉静な環境にある研修施設です。

2. よんでんメディアワークスの概要

よんでんメディアワークスは、四国電力㈱の社内
ベンチャー制度(愛称:チャレンジ「青い国から」)



写真1 会社概要説明風景

によるはじめての事業会社として、平成13年に設立
されました。営業種目は、映像制作、インターネッ
トへの映像配信、インターネット利用教育関連シス
テムです。企業のPR・商品紹介やイベント記録など、
手軽に低コストでビデオをつくりたい、または、と
っておきのビデオをホームページでも活用したい等、
各種映像の企画・制作からインターネット配信まで
をワンストップでサービスしています。

3. 四国電力総合研修所の概要

四国電力総合研修所は、昭和30年に新居浜市の技
能者養成所を高松市屋島西町の現在地に移転し設立
されました。その後、四国電気高等学院と改称され
平成元年に学院が閉校された後は総合研修所と改称
され、新しい時代のニーズに適合した最新鋭の設備
と機能を兼ね備えた新教育施設として「創造的自立
型人材」育成を目指した従業員の能力開発を、効果



写真2 四国電力総合研修所

よんでんメディアワークス会社概要

【設立】 平成13年4月2日

【資本金】 10百万円

四電出資比率：70%

【従業員】 9名

【売上高】 145百万円（平成14年度）

【事業所】 本店 / 高松

営業種目

【映像制作】

- ・企業紹介ビデオ，教育ビデオの制作
- ・講演会，コンサートなど各種イベント，行事の記録ビデオの制作

【インターネットへの映像配信】

- ・ホームページ上で視聴可能な動画（CM，イベント，セミナーなど）の制作・配信
- ・インターネットライブ中継
- ・ストリーミングカメラシステムの開発・配信

【インターネット利用教育関連システム】

- ・インターネット，イントラネットを利用した教育システム構築，教材の開発・制作
- ・インターネットを利用した教育システムの運営代行
- ・教育機関などを対象としたシステムの導入支援，保守管理

映像制作
ビデオ・DVD・CD



ネットワーク
映像配信
インターネットライブ中継
オンデマンド映像配信



教育研修
システム構築
WBT・e-Learning
教材制作，運営



的・体系的に推進する施設として設立されています。

4．訓練体系

四国電力総合研修所の訓練体系は、「創造的自立型人材」の育成を主眼とし、従業員一人ひとりの意欲とニーズに応え、日々の業務遂行に必要な能力開発とバランスのとれた人間形成をすすめています。そして、多様化する業務に対応するため新入社員教育、管理者教育、業務訓練などさまざまな形態の訓練を実施しています。

また、その教育訓練体系は、図1に示すように自己啓発（SD）と職場指導（OJT）を基盤とし、それらをサポートするための職場外教育（Off-JT）として、総合研修所で「経営管理教育」「業務訓練」「社員基礎訓練」を柱とした体系的な訓練が実施されてきました。

しかし、近年では、IT技術の発達とイントラネットの整備により、語学研修や経営管理教育などのコースは、WBT（「Web Business Training（ウェブ・ビジネス・トレーニング）」の略）やe-Learningを活用した訓練へ移行しています。

教育訓練の体系



図1 教育訓練の体系

5. 研修所の見学

今回訪問した「よんでんメディアワークス」は四国電力総合研修所と同じ敷地内にあり、四国電力総合研修所で実施されていた研修内容をWBTやe-Learningシステムとして構築しブロードバンド時代に対応した新しい形の教育訓練を進めています。

[AVスタジオ・遠隔教育スタジオの見学]

最初に見学した教育システムは、放送局のスタジオを思わせるAVスタジオおよび遠隔教育スタジオと呼ばれる場所でした。ここの教育システムは、よんでんメディアワークスが担当し研修所内で行われている研修や講演会および研究発表会などを中継・映像化し、四国電力のイントラネットを通じてグループ内の支店や発電所等に配信することができます。

よんでんメディアワークスは、このAV教育設備を利用して新しい研修ニーズに適応したWBTやe-Learningの教材を作成しています。

[技術訓練設備の見学]

総合研修所には、第一訓練棟から第三訓練棟と屋外訓練場が設置されており、日常業務に必要な知識や技術などを効率よく実践的に修得するためシミュ

レータを中心とした訓練が展開されています。特にダムや電力系統制御などの業務では、少しのミスが大きな災害や損失をもたらすため、実際に使用されている機器と同じ操作のシミュレータを用いた実践的訓練により業務への効果(即効性)を上げています。

また、ここの訓練施設では、最新式のハイテク機器のみでなく実際の現場に対応するため旧型の機器も設置され訓練内容が常に実務に密着する形で設定されている点や、屋外訓練場で行われる高所・高圧訓練などは安全を考慮し、段階的に実施する模擬訓練のなかにも真剣さと緊張感を維持するために安全に配慮した高電圧を流すなど経験と実績に基づいた



写真3 AVスタジオ



写真4 電力系統制御訓練設備



写真5 訓練用模擬変電所

工夫がされていました。

6. 産・学共同研究（F方式）への取り組み

よんでんメディアワークスでは、新しい時代の教育システムとしてWBDやe-Learning教材の開発など新規分野に積極的に取り組まれており、その1つに産・学共同研究（F方式）への取り組みがあります。これは四国職業能力開発大学の藤田先生を中心とするグループと、よんでんメディアワークスが共同で進めており、テーマは「次世代ストリーミング型遠隔教材作成ソフトの開発」です。近年インターネットの急速な発展に伴い自宅でインターネットを手軽に利用する環境が整い、教室での集合教育からインターネットを利用したe-Learningへの移行が急激に進み、受講者のニーズに対応できる質の高い教材が多く求められるようになりました。

特に文字や図、写真のみの教材から遠隔地にいな



写真6 ストリーミング教材等

がら教室にいるのと同じ状態が見られるように、動画（ビデオ映像）を含んだ教材を作成するためストリーミング技術に注目し、高品質なストリーミング教材を容易に作成できる環境構築を目的とし共同開発が進められています。

このソフトウェアの特徴は、教材作成機能に加えて問題作成機能と、間違えた問題に該当する講義の意を受講する問題駆動型の教材を作成する機能を有する点と、映像技術を応用した独自機能として任意のカメラを選択できるマルチアングル教材を作成する機能を有しています。

この共同開発で作成されたソフトウェアは、現在インターネットのホームページ上で紹介され、平成16年度に商品化し販売される予定です。このことは能力開発分野におけるインターネットを利用した教材開発に大きく寄与すると思われます。

7. ストリーミング技術を応用した遠隔教育の今後

従来の企業内訓練では、研修所に受講者を集めて行う訓練が一般的でしたが、今回お話を伺ったなかでは、英会話や管理者教育など実技を伴わないものはすべてイントラネットを介して営業所や発電所など配属先で受講するようになっているそうです。これは研修に必要な経費の削減や受講者の時間で受講できるため受講の機会が増えると思われます。

また、四国電力では、今後受講の機会を増やすためにイントラネットからインターネットへ対応させるそうです。

このお話からもWBTやe-Learningなど遠隔教材の活用は、今後、ますます普及すると思われ特に受講

者の関心や興味を維持するためストーリーミング型の教材（インターネット上に配信可能なビデオ教材）が求められるのではないかと思います。

8. まとめ

よんでんメディアワークスで開発されている技術や教材は、インターネット時代の新しい人材育成やキャリア形成に対応したものだと思いました。今後、ますます私たちの暮らしや仕事のなかで身近となるインターネットの活用は、私たちにとっても重要な課題であり今後の新しい形の能力開発を考えるうえで大変参考になりました。お忙しいなか、本取材に当たり多大なる協力をいただいた、よんでんメディアワークス代表取締役の中岡和好様、四国職業能力開発大学校助教授の藤田紀勝先生に厚く御礼を申し上げます。

e-Learningのマーケット規模

2005年	3488.4億円		
2006年	4258.3億円		
（先進学習基盤協議会調べ）			
単位：億円		単位：億円	
初等中等教育	148.1	初等中等教育	183.6
高等教育	1311.1	高等教育	1472.2
専修学校等	503.7	専修学校等	675.7
企業内教育	1209.1	企業内教育	1559.7
生涯教育	316.4	生涯教育	367.1
計	3488.4	計	4258.3

第8回 ポリテックビジョン東海ブロック(愛知,静岡,岐阜,三重)に参加して

能力開発研究センター 植木 正則

2月13日(金)、14日(土)にポリテクカレッジ浜松において、東海ブロックのポリテックビジョンが開催されました。

13時より開会式が体育館で行われました。ついで同会場にて記念講演が行われました。講演者は㈱デンソー副会長の岡部弘(おかべ ひろむ)氏、テーマは「ものづくりの競争力～企業の変革と競争力の強化～」ということでした。内容は企業紹介から始まり、企業の変革について ミッション(企業の志)、創業の精神「変化を先取りした大胆な企業行動」と「燃えるような情熱」、健全な危機感の醸成(戦略ドライバー)、人を大切にす経営風土(人材育成)、優れたマネジメント・システムについて、企業の競争力強化、コア・コンピタンス(中核となる能力)を磨く、と進んでいきました。講演時間は1時間30分、来

場者約600名でした。

15:00からは、各ポリテクカレッジの学生・職員による研究・開発発表が行われました。また展示会場で各ブースにて説明が始まりました。

展示会場は2つあり、第1会場は企業参加として浜松合同がNC関連ソフトの展示、浜松ホトニクスがカミオカンデのセンサ展示を行いました。その奥ではポリテクカレッジ東海および浜松、ポリテクセンター中部のパネル展示および課題展示がありました。隣の部屋では県センター相談コーナーを設けていました。第2会場は、ポリテクセンター三重、南伊勢、土岐、静岡と富士研修センターの展示でした。パネルにより来場者に各センターの紹介を行っていました。

発表会は日ごろの成果を出すということで学生たちの真剣さが伝わってきました。

